

HiKOKI

ベルトグラインダ

50 mm **BGM-50**

取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

目 次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
本製品の使用上のご注意	5
各部の名称	8
仕 様	8
付 属 品	9
別 売 部 品	9
用 途	12
作業前の準備	12
ご使用前に	15
削 り 方	17
定盤を縦型にする場合	19
研磨ベルトの取付け・取りはずし	20
研磨ベルトの位置調整	21
トイシの交換について	22
別売部品についてのご注意	23
トイシの種類と用途	24
研磨ベルトの種類と用途	25
保 守 ・ 点 検	25
ご修理のときは	裏表紙

△警告、**△注意**、**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」、「△注意」、「注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

△警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてを良くお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
 - 安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

警告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のついた所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
 - 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、良く切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
 - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。**
 - 使用しない、または、修理・調整・点検する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
 - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ **屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

警告

⑱ 油断しないで十分注意して作業を行ってください

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、本製品について、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① **本機は、銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
(詳細は、15 ページの「1. 使用電源を確かめる」の項を参照してください。)
- ② **必ずアース (接地) してください。**
故障や漏電などのとき、感電のおそれがあります。
(詳細は、12 ページの「2. アース (接地)、漏電しゃ断器の確認」の項を参照してください。)
- ③ **スパークブレーカは、必ず取付けて使用してください。**
スパークブレーカを取付けず使用すると、トイシが破壊したとき、けがの原因になります。
- ④ **使用するトイシは、トイシの最高使用周速度が銘板に表示してある周速度以上で、かつ正規寸法のものであることを確認してください。**
正規寸法以外のトイシを使用すると、トイシが破壊し、けがの原因になります。トイシ寸法は、8 ページの仕様欄を参照してください。
- ⑤ **トイシは外周面で研削してください。トイシの側面では研削しないでください。**
トイシの側面で研削すると、トイシが破壊し、けがの原因になります。
- ⑥ **トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**
異常があると、トイシが破壊し、けがの原因になります。
- ⑦ **水、研削液などは使用しないでください。**
乾式用のため、トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。
- ⑧ **保護おおい (ホイルガード、ガードカバー) やツールレストをはずして使用しないでください。**
保護おおい、ツールレストなどが確実に取付けられていることを確認してください。また、トイシによる作業の場合は、研磨ベルトの安全カバー (ベルトカバー (B)) を研磨ベルトによる作業の場合は、トイシの安全カバー (トイシカバー) を、さらにシャフトボディによる作業の場合はトイシと研磨ベルトの安全カバーを確実に取付けてから使用してください。
- ⑨ **使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

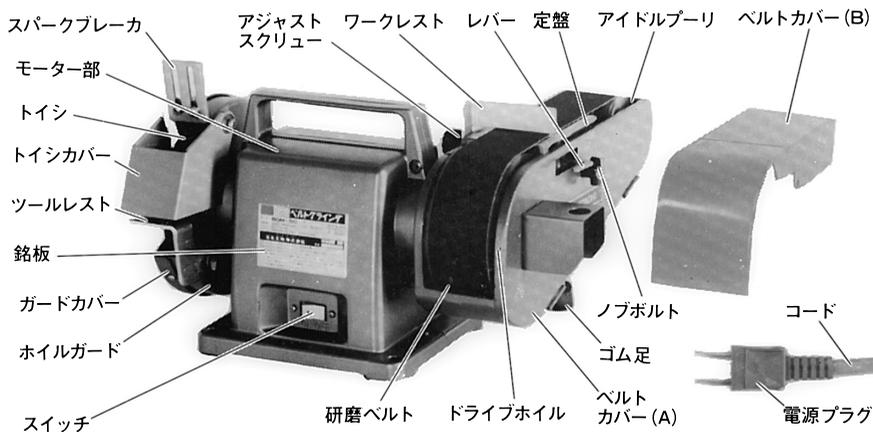
警告

- ⑩ 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
火災ややけどの原因になります。
- ⑪ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑫ 誤って落としたり、ぶつけたときは、トイシや機体などに破損や亀裂、変形がないことを良く点検してください。
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑬ 【事業者の方へ】
- (1) トイシの取替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
- | | | |
|------|------------|------|
| 関連法令 | 労働安全衛生法 | 第59条 |
| | 労働安全衛生規則 | 第36条 |
| | 安全衛生特別教育規程 | 第2条 |
- (2) 粉じんを発生する作業に関しては換気の実施、排気装置、除じん装置、呼吸用保護具の使用が定められた「粉じん障害防止規則」があります。この規則に従って正しくご使用ください。

⚠注意

- ① トイシや研磨ベルト、付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から一時身体を避けてください。
トイシが破壊したとき、けがの原因になります。
- ③ 試運転を励行してください。
試運転は、トイシ交換後は3分間以上、その日の作業始め前は1分以上行ってください。
試運転せずに作業開始すると、思わぬけがの原因になります。
- ④ トイシ、研磨ベルトはいつも良い切れ味で使用してください。
研削できないトイシ、研磨ベルトはモーターに無理をかけ能率も悪くなります。
トイシはまめにドレッシングし、研磨ベルトは新品と交換していつも良い切れ味で使用してください。
- ⑤ トイシ締付け部品の扱いをていねいにしてください。
トイシ軸、ホイルワッシャ、ナットなどトイシ締付け部品は傷をつけないようにご注意ください。トイシが破壊する原因になります。
- ⑥ トイシの保管に注意してください。
研削液を使用しないトイシ(本機使用のものもその一種)は水分、湿気により強度を低下させます。保管には十分ご注意ください。
- ⑦ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

各 部 の 名 称



- 注** • ベルトカバー(B)は本体から取りはずしてあります。

図 1

仕 様

使用電源	単相交流 50/60Hz共用	電圧 100V
入 力	210W	
全負荷電流	3.2/2.3A 50/60Hz	
研磨ベルト寸法	幅50×周長710mm	
研磨ベルト速度	19/23m/s {1150/1380m/min} 50/60Hz	
ドライブホイール	外径122mm 幅54mm	
トイシ寸法	外径150×厚さ16×穴径12.7mm	
トイシ種類	レジノイド A60N7BP09(平形)	
トイシ最高使用周速度	50m/s {3000m/min}	
無負荷トイシ周速度	23/28m/s {1413/1696m/min} 50/60Hz	
モーター	コンデンサラン単相誘導電動機	
機体の大きさ	幅367×奥行356×高さ204mm	
すえ付寸法	幅166×奥行138mm 穴径11mm	
コード	モールドプラグ付2心ビニールコード 2m	
質 量	9.5kg	

付 属 品

- ①エンドレス研磨ベルト
AA粒度60, 粒度100各1枚 (本体装着は
AA粒度100) (コード番号 別売部品参照)



- ②3mm六角棒スパナ
(コード番号 943277)



使い方は19ページ参照

図 2

別 売 部 品 (別売部品は生産を打ち 切る場合があります。)

- ①エンドレス研磨ベルト (幅50mm×周長710mm) (5枚入)



ト粒の種類：A A

粒度	コード番号	粒度	コード番号	粒度	コード番号
40	306073	100	306076	180	306079
60	306074	120	306077	240	306080
80	306075	150	306078		

- ②目立てトイシ
(コード番号 952610)



使い方は23ページ参照

- ③カラー
(コード番号 952611)



目立てトイシを使用する
場合、必要です。

使い方は23ページ参照

- ④アイシールド
(コード番号 9316-9107)



作業中の目を保護するも
のです。

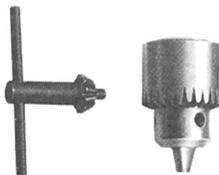
図 3

⑤ダイヤモンドドレッサー
(コード番号 952442)



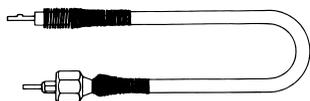
トイシのドレッシングに使用してください。

⑥ドリルチャック (6.5T L R形)
(コード番号 950282)



シャフトボディーの取付けに必要です。

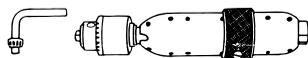
⑦シャフトボディー
(コード番号 939923)



作業位置が自由に変えられる取付け具です。回転用シャフトヘッド(A), (B)および振動用シャフトヘッドを取付けてご利用ください。

○シャフト長さ 1m

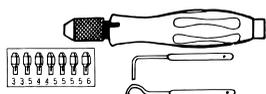
⑧回転用シャフトヘッド(A)
(コード番号 939924)



各種材料の研磨、穴明け、バリ取り等にご利用ください。

○6.5mmドリルチャック、手元スイッチ、クラッチ (安全装置) 付

⑨回転用シャフトヘッド(B)
(コード番号 939925)

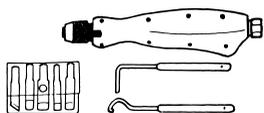


各種材料の研磨、穴明け、バリ取り等にご利用ください。

○コレットチャック、Lピン、カギピン付

図 4

⑩振動用シャフトヘッド
(コード番号 939926)



木彫り，版画，彫金等にご利用ください。
○ 彫刻刃，Lピン，カギピン付

図 5

用 途

⚠ 警 告

●用途以外には使用しないでください。特にアルミニウム鋳物、マグネシウム鋳物は研削しないでください。

- 一般鋼材、鋳鉄、青銅などの小物研削。
- 非鉄金属、塗膜、木材などの小物研削。
- 木材、アルミ、レンガ、軽量ブロックの穴あけ。(別売部品のシャフトボディー使用)

作業前の準備

ご使用になる前に次の準備をすませてください。

1. す え 付 け ……………

本ベルトグラインダは、卓上形ですので作業台に取付けて使用してください。作業しやすい場所を選び、10mmボルト4本で確実に作業台に固定してください。本体をすえ付ける前に、定盤の下にあるゴム足がすえ付け面に対し突張ったり、浮いたりしていないことを確認してください。高さが合わない場合には、まず定盤の六角穴付止めネジ(図13参照)をゆるめ、次に本体を10mmボルト4本で固定してください。最後にゴム足をすえ付け面の高さに合わせて六角穴付止めネジを確実に締めてください。

2. アース(接地)、漏電しゃ断器の確認 ……………

⚠ 警 告

●アース(接地)線をガス管に取付けると爆発のおそれがありますので、絶対にしないでください。

ご使用にさきだち、本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置(以下、漏電しゃ断器と言います。)が設置されているか、確認してください。

また、本機は必ずアース(接地)してください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器の設置されている電源でお使いになる場合でも、より安全のためにアース(接地)されるようにおすすめします。

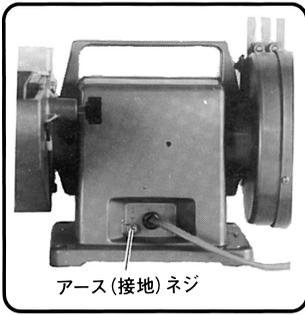


図 6

アース（接地）をする場合は、本体後部のアース（接地）ネジをご使用ください。（図6）

テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら、アース（接地）線の先端と本体金属外枠との間の導通を確認してください。

地中にアース極（アース板、アース棒）を埋め、アース（接地）線を接続するなどのアース工事は、電気工事士の資格が必要です。お近くの電気工事店にご相談ください。漏電しゃ断器やアース（接地）については、つぎの法規がありますので、参照してください。

労働安全衛生規則（第333条 漏電による感電の防止、第334条 適用除外）

電気設備の技術基準（第19条 接地工事の種類、第29条 機械器具の鉄台および外箱の接地、第40条 地絡しゃ断装置等の施設）

3. 継ぎ（延長）コード ………

⚠ 警 告

• 継ぎ（延長）コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎ（延長）コードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてお使いください。

心線断面積	最大長さ
0.75mm ²	20m
1.25mm ²	30m
2mm ²	50m

左の表は、コードの太さ（心線断面積）によって、本機に使用できるコードの最大長さを示します。これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因となります。継ぎ（延長）コードは2心キャブタイヤケーブルをお使いください。

4. スパークブレーカの取付け ………

スパークブレーカは作業中、火花および研削粉の飛散を防ぎます。また、トイシが破壊した際の災害防止のため、必ず取付けて使用してください。

スパークブレーカは出荷時、本体より取りはずして段ボール内に入れてあります。箱から取り出して、図1および図8のようにナベネジ2本で確実に取付けてください。

5. ベルトカバー(B)の取付け ……………

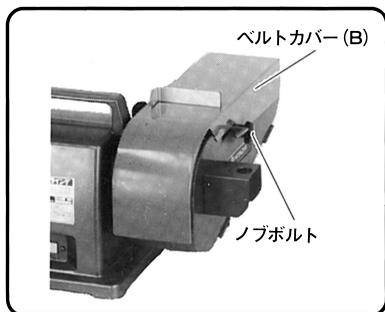


図 7

ベルトカバー(B)は本体より取りはずしてダンボール箱内に入れてありますから、図7のように取付けてください。

ベルトカバー(B)は研磨ベルトによる作業をしないとき、不用意に手などがベルトに触れてけがをしないためのものです。

6. 作業環境の整備・確認 ……………

作業する場所が、2ページ「電動工具の安全上のご注意」の注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確かめてください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警 告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～8項については、電源プラグを電源にさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる ………

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると、トイシや機体が破損するおそれがあります。また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類で使用しないでください。製品が故障するだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる ………

スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグを電源にさし込むと不意に起動し、思わぬ事故の原因になります。

スイッチ(図1参照)はON側に倒すと入り、OFF側に倒すと切れます。スイッチが切れていることを必ず確認してから電源プラグを電源にさし込んでください。

3. トイシを確かめる ………

⚠ 警 告

- トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると、トイシが破壊し、けがの原因になります。

銘板に表示してある寸法以下のトイシを使用し、トイシにヒビ、割れがないことを確認してください。

4. トイシの締付けを確かめる ………

⚠ 警 告

- トイシ締付けナットがゆるんでいるとトイシ軸が回転したときトイシの破壊、事故の原因になります。

工場出荷時、十分締付けておりますが念のためトイシの締付けナットを確実に締付けてください。詳細は22ページの「トイシの交換について」の項を参照してください。

5. 研磨ベルトを確かめる ………

研磨ベルトに傷、しわ、破れ、穴がないことを確認してください。また研磨ベルトの裏面の矢印がガードカバーに指示してある回転方向に合っていることを確認してください。

6. 保護おおいの締付けを確かめる ………

⚠ 警 告

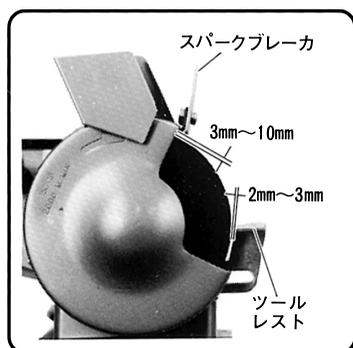
- 保護おおい（ガードカバー、ホイルガード）が確実に取付けてあることを確認してください。

保護おおい（ガードカバー、ホイルガード）は万一トイシが割れた場合などの災害防止のものであります。工場出荷時、十分締めておりますが念のため取付けネジを確実に締付けてください。

7. トイシは、最高使用周速度以上のものを使用する ………

トイシを交換する場合、銘板に記載している最高使用周速度以上のトイシを使用してください。

8. スパークブレーカ、ツールレストとトイシのすきまを調整する ………



スパークブレーカとトイシのすきまは3～10mm、ツールレストとトイシのすきまは2～3mmに作業する前、常に調整してご使用ください。（図8）

（トイシが減るにしたがって調整してください。）

図 8

9. 電源コンセントの点検 ………

電源プラグをさし込んだ時ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

10. 研磨ベルトの位置調整を行う ………

調整は21ページの「研磨ベルトの位置調整」の項をご参照ください。

11. 試運転を行う ………

トイシにヒビ、割れがあるのを気付かずに作業しますとけがの原因になります。

作業前には、万一トイシが破壊しても、トイシが身体に当たらないよう、トイシの正面位置から必ず一時身体をさけるとともに、他人のいない方向にトイシを向け、必ず試運転を行って異常のないことを確認してください。

試運転の時間は

トイシ交換のとき ……………3分間以上

その日の作業を始めるとき ……………1分間以上 です。

12. トイシの面振れ確認 ………

スイッチを入れトイシを回転させ、極端な面振れ(1mm以上)がないか目視で確認してください。

面触れが大きいとトイシが破壊する原因になります。

削 り 方

1. 研磨ベルトによる作業 ………

⚠ 警 告

- 研磨ベルトによる作業の場合は、被研削物をしっかり持ってベルトにまき込まれないようにしてください。
- ワークレストは被研削物のはね上りを防ぐと共に、研磨ベルトが切れた場合の災害防止に役立ちますから、必ず取付けておいてください。
- 作業が終わりましたら必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。

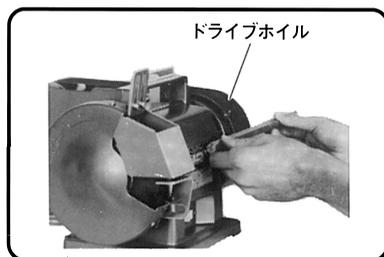


図 9

(1) ドライブホイール部分での作業(図9)

ドライブホイール部分での作業は、特に被研削物をしっかり持って、ベルトにまき込まれないようにしてください。

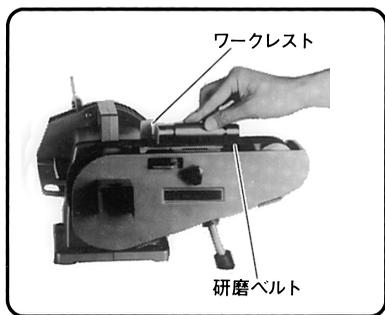


図 10

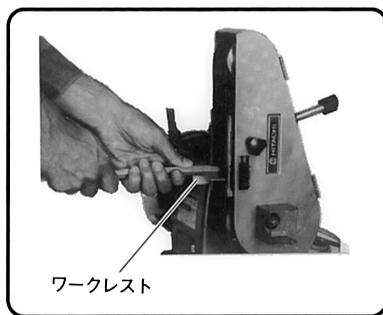


図 11

(2) 作業定盤部分での作業

被研削物をワークレストに突当て、研磨ベルトに押し付けます。(図10)

また、定盤は立てて使用することもできますので、この場合はワークレストに被研削物を乗せて、研磨ベルトに軽く押し付けて作業してください。(図11)

定盤を立てて使用する方法は19ページの「定盤を縦形にする場合」の項を参照してください。

2. 平形トイシによる作業 ………

⚠ 警 告

- 平形トイシは側面からの衝撃に弱いので側面は絶対に使用しないでください。
- 作業が完了しましたら必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。

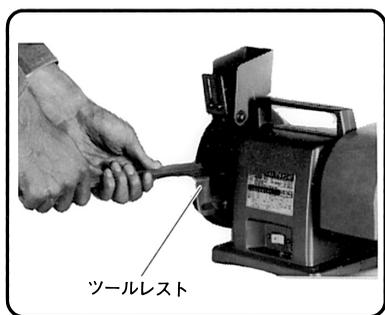


図 12

(1) 被研削物はツールレストにのせて作業してください。(図12)

また被研削物を片手で持ったり、よそ見しながらの作業は危険です。

(2) 目つぶれ、または目づまりしたトイシをそのままご使用になりますと加工面が悪くなるばかりでなく、能率が低下しますから、ときどきドレッサーでトイシのドレッシングをして、外周を真円にしてから作業してください。

別売部品のダイヤモンドドレッサーを使用すると便利です。

定盤を縦形にする場合

⚠ 警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いておいてください。
- 定盤を固定する六角穴付止めネジの締付けが不十分ですと、定盤が急に倒れる場合があります、けがの原因になります。必ず確実に締付けてください。

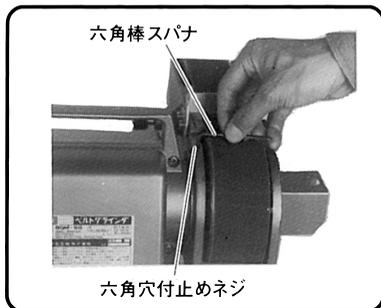


図 13

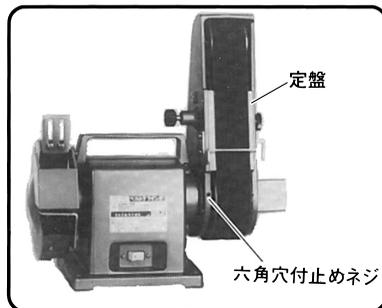


図 14

- (1) 図13のように六角穴付止めネジを付属の六角棒スパナでゆるめ定盤を垂直位置に移動します。
- (2) 垂直位置になると定盤がストッパーに当たりますのでこの位置で六角穴付止めネジを確実に締付けてください。(図14)

研磨ベルトの取付け・取りはずし

⚠ 警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いておいてください。

1. 取付け方 ………

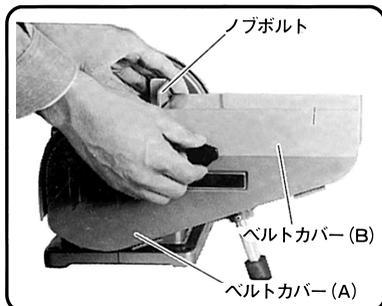


図 15

- (1) ノブボルトをゆるめベルトカバー(A), (B)を外します。(図15)

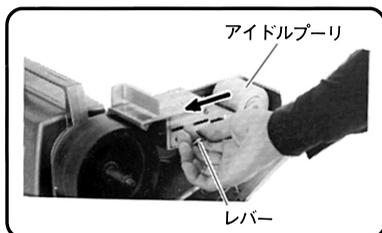


図 16

- (2) 指でレバーをアイドルプーリ側に移動すると、アイドルプーリは矢印方向に移動し、研磨ベルトが掛けやすくなります。(図16)

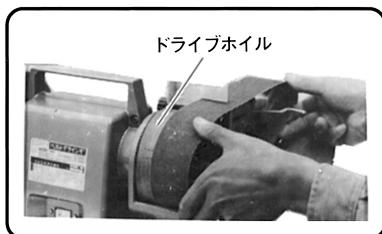


図 17

- (3) 研磨ベルトは内側の矢印をドライブホイールの回転方向に合わせ、両プーリに掛けます。(図17)

注 • 矢印の方向を間違えると作業能率が下がったり、研磨ベルトの接合部がはがれることがあります。

- (4) レバーを元に戻しますと、研磨ベルトは適当な張りになり、作業できる状態になります。

この場合、急にレバーを戻すと、レバーが指を叩くことがありますのでレバーをしっかり持ってゆっくり元に戻してください。

2. 取りはずし方 ………

図16と同じようにしてレバーをアイドルプーリ側に移動すると、研磨ベルトは張りかゆるみ、簡単に取りはずせます。

研磨ベルトの位置調整

警告

- 研磨ベルトの位置調整をしないで回転を続けると、研磨ベルトが機体やカバーに食い込んで非常に危険ですので確実に調整してください。

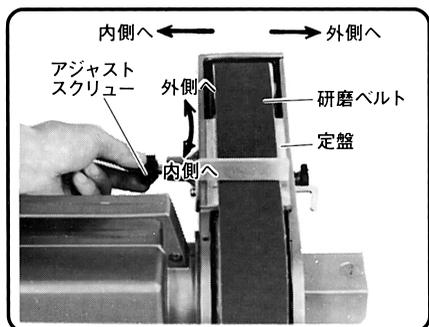


図 18

スイッチを瞬時だけ入れ、少し回転させ、研磨ベルトが横に移動するかどうか調べてみてください。

もし移動するようでしたらアジャストスクリューを回して研磨ベルトが定盤中央に安定するよう調整してください。アジャストスクリューを内側（時計回り）へ回すと研磨ベルトが内側へ移動します。また、外側へ（反時計回り）回すと研磨ベルトが外側へ移動します。

(図18)

作業中に研磨ベルトが定盤中央よりかたよったときには作業を一時中断し、調整したのち使用してください。

トイシの交換について

⚠ 警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いておいてください。

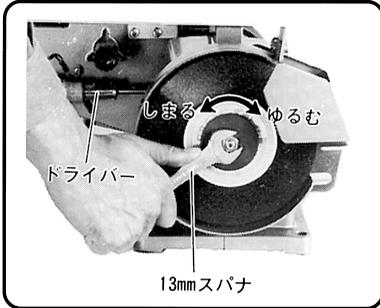


図 19

- (1) トイシの交換は保護おおい（ガードカバー）（図1参照）をはずし、ハウジング後部の穴からドライバーをさし込み、モーター軸が回転しないようにしてトイシ締付けナットを13mmスパナで回してください。（図19）

- (2) トイシ締付けナットを締めすぎますとトイシが割れることがありますから注意してください。

ナットは回転により締まる方向のネジになっておりますから回転中にゆるむようなことはありません。

- (3) 規定寸法以上のトイシをご使用になりますと、トイシの円周速度が安全の限界を越し、トイシが破壊する危険がありますから絶対に使用しないでください。

- (4) トイシを交換するときホイルワッシャのまわり止めピンを紛失しないよう注意してください。

別売部品についてのご注意

1. 目立てトイシとカラーについて ……

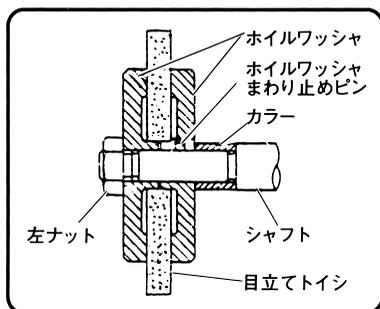


図20

(1) 目立てトイシ取付けの際は、カラーをシャフトに挿入してからホイルワッシャ、目立てトイシを取付けてください。(図20)

(2) カラー挿入後、必ずホイルワッシャまわり止めピンをシャフトの穴に取付けてください。(図20)

2. シャフトボディーなど(10～11ページ別売部品⑥～⑩)の接続について ……

⚠ 警 告

- シャフトボディーを使用する場合は、必ず本体を作業台などに固定してください。

ドリルで穴をあける場合にドリルが材料に食い付いて回転が止まる場合があります。このときシャフトボディーがねじ曲げられ、本体が回転する危険がありますので、必ず本体を作業台などに固定し、使用してください。

また、シャフトボディーは精巧にできており、一度変形すると使用不可能になります。クロスしたり急角度に曲げてご使用にならないでください。

接続方法

- (1) 本体のドライブホイール側シャフトに別売部品⑥ドリルチャックを取付けます。
- (2) ドリルチャックに別売部品⑦シャフトボディーを取付けます。
- (3) シャフトボディーの先端に別売部品⑧～⑩回転用シャフトヘッド(A)、(B)および振動用シャフトヘッドを取付けます。

トイシの種類と用途

1. 研削作業においては被研削物の材質に適したトイシを選定することが能率的な作業をする上で最も大切なことです。

本機には、下表に示すように一般鋼材に適するトイシが取付けてあります。

付属トイシ仕様表

ト粒	粒度	結合度 (硬度)	組織	結合剤	細分 記号	被研削物の材質
A	60	N	7	B	P09	軟鋼，铸造鋼，硬鋼，焼入鋼， 青銅(硬質)にも適す。

2. 被研削物の材質が鉄，非鉄金属の場合は，各種のトイシが市販されておりますので下表を参考にトイシを選定してください。

被研削物の材質	ト粒	粒度	結合度 (硬度)	組織	結合剤	備考
黄銅・青銅	C	24	P	7	B	鑄バリ取り
鑄鉄	C	16	P	7	B	鑄バリ取り
超硬質合金	GC	60	I	7	V	荒削り

研磨ベルトの種類と用途

研磨ベルトは作業に適した粒度のものをお使いください。

下表は一般的な基準です。選定の参考にしてください。

被研削物の材質		仕上げ程度	ト	粒	粒	度	
鋼	普通炭素鋼	粗	仕	上	げ	AA	30～60
		中	仕	上	げ	AA	80～120
		上	仕	上	げ	AA	150～240
	合金鋼 ステンレス鋼	粗	仕	上	げ	AA	40～80
		中	仕	上	げ	AA	100～120
		上	仕	上	げ	AA	150～240
鋳鉄	粗	仕	上	げ	AA	30～60	
	中	仕	上	げ	AA	60～120	
非鉄金属	銅およびその合金	粗	仕	上	げ	AA	30～60
木	一般木材	粗	仕	上	げ	AA	36～60
		中	仕	上	げ	AA	80～180
材	合板	粗	仕	上	げ	AA	40～80
		中	仕	上	げ	AA	100～150
	繊維板	粗	仕	上	げ	AA	40～80
		中	仕	上	げ	AA	100～120
塗	膜	上	仕	上	げ	AA	240
		上	仕	上	げ	AA	180～240
皮	革	上	仕	上	げ	AA	180～240
ゴ	ム	上	仕	上	げ	AA	150～240

保守・点検

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源から抜いておいてください。

1. トイシの交換時期 ……

トイシの外径がトイシラベルまで磨耗したら、新品と交換してください。

2. 各部取付けネジの点検 ……

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。ゆるんだまま使いになりますと危険です。

3. モーター部の取扱いについて ……………

モーター部(図1参照)は本機の心臓部です。掃除, 点検, 手入れなどの際, 水や油でぬらさないようにしてください。

4. 各部の清掃 ……………

研削粉がグラインダ内に侵入しますと, 各部分の寿命を著しく縮めますのでグラインダは常に清潔にし, 研削粉を取り除いておいてください。

5. 製品や付属品の保管 ……………

使用しない製品や付属品の保管場所として, 下記のような場所は避け, 安全で乾燥した場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり, 簡単に持ち出せる場所
- 軒先など雨がかったり, 湿気のある場所
- 温度が急変する場所
- 直射日光の当たる場所
- 引火や爆発のおそれがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には
保管しない。

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておくと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00～17:00

●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待ちする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部 TEL (03) 5783-0626	●北陸支店 TEL (076) 263-4311
●北海道支店 TEL (011) 896-1740	●関西支店 TEL (0798) 37-2665
●東北支店 TEL (022) 288-8676	●中国支店 TEL (082) 504-8282
●関東支店 TEL (03) 6738-0872	●四国支店 TEL (087) 863-6761
●中部支店 TEL (052) 533-0231	●九州支店 TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/sales.html>

WEBに
アクセス

バーコードリーダー機能付きの
携帯端末より読み取ることで、
最新の全国営業拠点をご確認い
ただけます。



工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <http://www.koki-holdings.co.jp/powertools/>